

第17回 **東京国際ブックフェア** 

Vol. 7 2010. 6. 25

詳しくは ホームページで

会期:2010年7月8日[木]~11日[日]<4日間> 会場:東京ビッグサイト
主催:東京国際ブックフェア実行委員会/リード エグジビション ジャパン株式会社

TIBF: www.bookfair.jp
DP: www.digi-fair.jp

同時開催 **デジタル パブリッシングフェア** 会期:2010年7月8日[木]~10日[土]<3日間>

『電子書籍』の動向が全てわかります。

今年のブックフェアの中で特に注目を集めるのが、電子書籍に関するあらゆる技術・サービスが一堂に集結する「デジタル パブリッシング フェア」。セルシス、ボイジャー、パピレス、大日本印刷、凸版印刷、共同印刷など有力企業が例年どおり出展するのはもちろん、“電子書籍元年”を象徴するようなトピックが満載です。

■ 読書の形はどうか？ 最新の端末が提案される！

国内からはNECがアンドロイド搭載の新情報端末、富士通がカラー電子ペーパー採用の情報端末をそれぞれ展示するほか、中国企業の方正は、本国で大きなシェアを展開する端末を日本語化して発表します。また、iPad・iPhone、キンドル、スマートフォン向けのアプリケーションやソリューションを多くの出展企業が展示する見通しです。

■ 世界のプラットフォームが見える、そしてGoogleも

全世界的にその動向が注目されるGoogleは“Googleブックス”や新サービスを紹介しします。このほかにも、電子書籍という新しいマーケットで覇権を握るため、海外発の様々なプラットフォームが展示されます。たとえば、米国ジニオ社は、世界最大の電子雑誌配信サービスを、ジャパン・トゥエンティワン社はイスラエル発の電子配信プラットフォーム「NetIS」、アトラス社は、ニューヨークタイムズが利用する電子出版プラットフォーム「Atypon Literatum」を紹介しします。

【出展社・出展製品一覧は <http://www.digi-fair.jp/ichiran/>】

■ 新設！ “デジタルコンテンツ ソリューション ゾーン”

映像、音楽、ゲームなどの書籍以外のコンテンツも、デジタル化され、その楽しみ方も大きく変化してきました。こうした状況をうけ、コンテンツ産業における新しいビジネスモデルやプラットフォームを一堂に集めた「デジタル コンテンツ ソリューションゾーン」を今回から新設しました。角川グループとNTTの合弁会社 NTTプライム・スクウェアや、インターフェイス、IMAGICAデジックス、日本ケーブルテレビジョンなど注目の企業が出展します。

■ ボイジャー萩野社長 や、DeNA南場社長など20名が講演するセミナーも

最新的话题を集めた専門セミナーも注目です。「Mr. 電子出版」と言われる萩野社長とGoogle村上会長が講師をする「電子書籍アーカイブ」は特に大きな注目を集めています。その他、シャープ、NEC、富士通の国内有力3社が語る「新端末」など興味深い講演が次々に行われます。ここで語られたことが、今夏以降の電子書籍の動向に大きな影響を与えることになるかもしれません。

【セミナーの詳細は <http://www.digi-fair.jp/seminar/>】